

# 富津市民委員会委員アンケート結果

平成28年2月

富 津 市



# 目 次

調査の概要 .....	1
1. 市民委員会参加の満足度について .....	2
2. 委員の募集方法について .....	5
3. 市民委員会の運営方法について① .....	8
4. 市民委員会の運営方法について② .....	11
5. 自身の行動変化について .....	13
6. 進行管理機関への参加意欲について .....	16
7. 市民委員会委員の感想 .....	17



## 調査の概要

---

### 1 趣 旨

○富津市民委員会の運営を検証するとともに、次年度以降の進行管理機関への市民委員の参加意向を調査するためにアンケートを実施するもの。

### 2 調査の方法

#### (1) 調査・集計方法

平成 28 年 2 月 9 日までの回答を集計

#### (2) 回答結果

調査対象数：71 人 回答数：38 人 有効回答率：53.5%

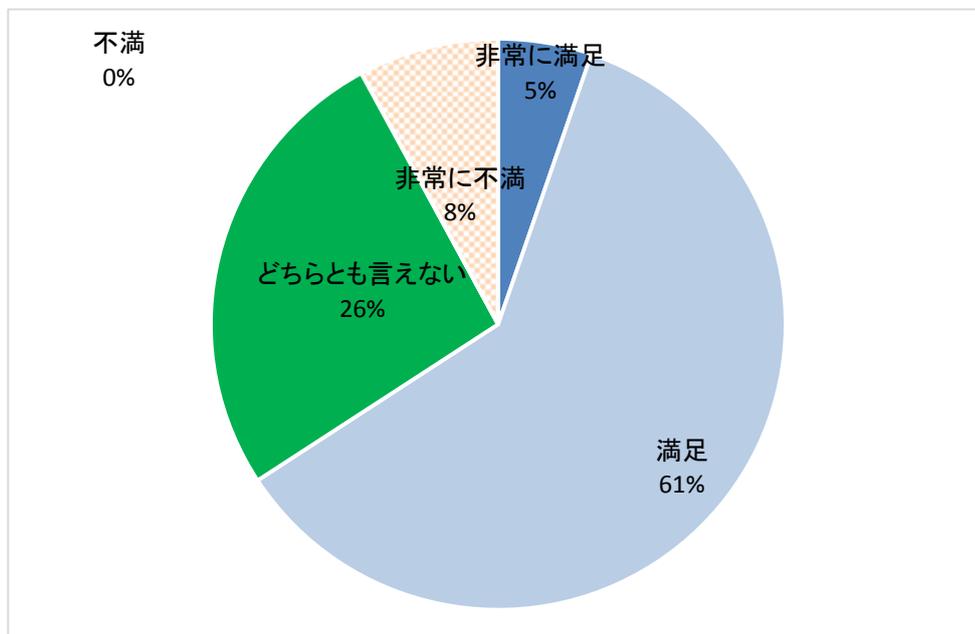
### 3 調査項目

- 市民委員会参加の満足度について
- 委員の募集方法について
- 市民委員会の運営方法について
- 自身の行動変化について
- 進行管理機関への参加意欲について

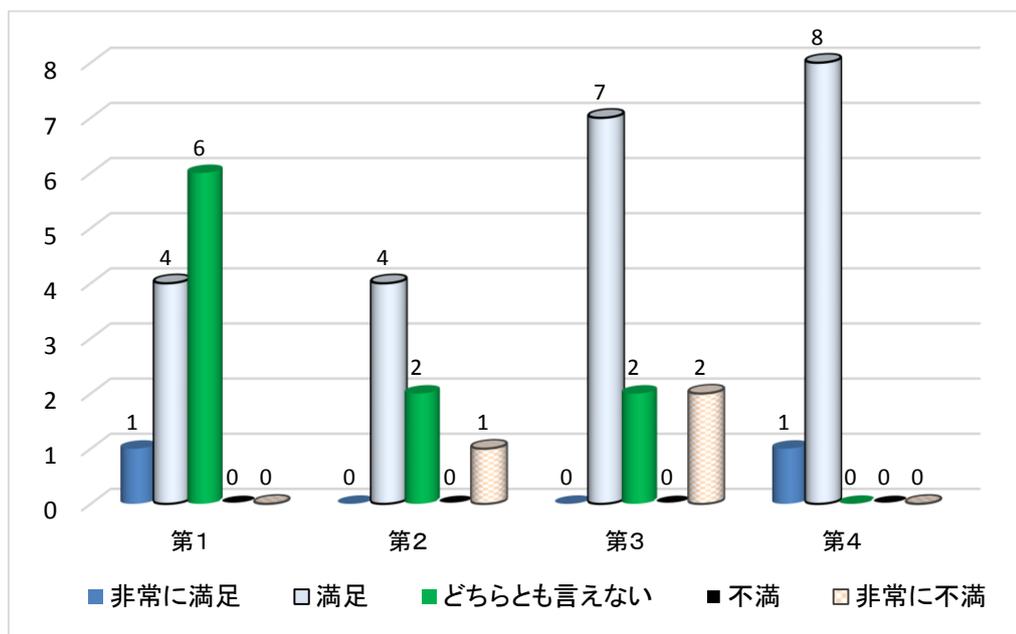
## 1. 市民委員会参加の満足度について

問 市民委員会に参加してみて、いかがでしたか。

全体



各分科会



## 自由記述

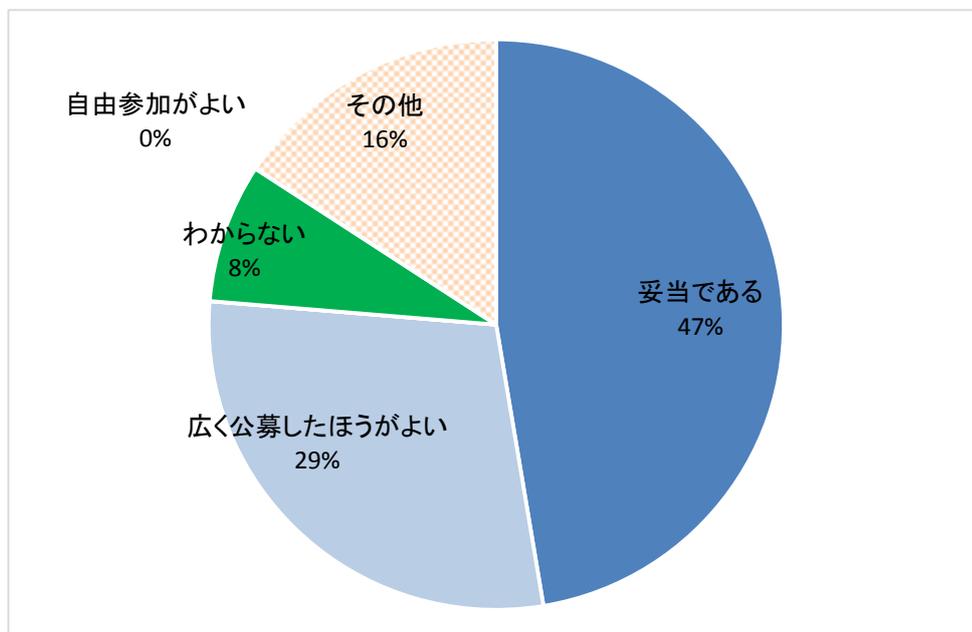
- 市についてあまり詳しくない。見当違いな事を言ってしまったのではと思っています。
- 気楽に参加しましたが、やっているうちに「自分が出てよかったのか？」と疑問になりました。もっと意見や考えのある人が出るべきだったと思っています。そういう人の話（現役区長さんなど）をもっと聴いて会に生かせたらよかった。
- 参加したことで市民の方々の意見や市役所の方々の業務を知ることができ勉強になった。しかし、この取組が本来の目的を達成するに十分であったかは判断できない。
- 市政に一般市民の声を吸い上げて取り入れて行こうとの姿勢を評価したい。但しその後の対応が大事であると思います。
- 富津市の現状がわかってきました。ただ行政にまかせきりで過ごしてきたので改善の必要が多くある事も、改善するにも財政が無い事もよく理解しましたが、不安と心配がたくさんです。
- 項目が多すぎて資料を理解できないところがある。
- 市の現状をより一層、把握することができ、前向きに物事を考えていかなければという気持ちになりました。
- 自分の住んでいる市の問題・現状を知る機会になり興味深かったです。
- 地元にいながら意外と富津市の事を知らなかったことに気付いた。
- 行政側の視点だけでなく市民サイド（多岐に亘る意見）の見方が混在した中で今後の富津市のあるべき方向が見出せたと思います。
- 以前から気になっていた公共交通について等を提案することができた。
- 富津市の現状、問題点について認識できた事
- 全ての意見が反映されるとは元々思っていないが、どこまで反映されるのか、この先継続されて行くのか不明。また、市民や市の職員と議員の考えや行動力に差を感じる。
- 結局、市役所（組織としても職員一人ひとりとしても）は改革する気がない。危機感もない。市民の意見を取り上げる気もないと感じた。会議ばかりでなく、できるところからどんどん動いてほしかった。今後の展望も期待できない。具体的な策はいつ作るの？
- 毎回、同じ話をしている様で、目に見えての変化が見えず回を重ねるごとに、気持ちが沈む感じだった。
- 市内在住の、普段の生活では先ず接することのない方々と同席する機会を与えられたこと。

- 富津市に改革は無理と思っていましたが、市会議員や区長の手当て問題等、近隣の市や全国の同程度の市と比べるとまだまだ満足とは言えないが問題提起できて良かった。
- 1つの事でも色々な意見があり、幅広く皆様の意見を聞く事ができて良かったです。
- 現在の行政と市民の視点が見えた。
- 参加したいが休めない。富津の事を共有し、考えたかったが、一部のかたよった方、人の意見を聞けない方がいて、ボロボロな会議。職員を責めるような発言。市議会議員を責める発言。市長を責めるならわかる。
- 一市民の声がこんなに聞いてもらえるチャンスはなかなかないことなので、意見を言えたことについて満足しています。
- なかなか自分ではできないいい経験をさせて頂いたと思います。
- 市政に対する関心度が向上した。
- 市民の方々の様々な意見を聴け、有意義なディスカッションが出来たから。市民と行政の意識やギャップを痛感し、意見できたから。
- 日程の都合が合わず、半分ぐらいしか参加できなかったから。
- 愚痴を聞きに参加したくない。
- 参加者全員が年齢を問わず真剣な態度で議論に参加していた（10代から80代まで）
- 色々な事で勉強不足、世間知らずで申し訳なく思いました。参加する事も大事と思い参加できた事だけに対し、満足とします。
- 勉強になり、自分の無知がわかりました。
- 富津市の実情が良く把握できて良かった。富津市の創生を市民、地域、行政が一体となり推進すべきだと再認識した。
- これまで、全く知らなかった行政の取組を知ることができた。集まった多様な委員の意見を聞いていて希望が増した。
- さまざまな問題点を知ることができました。
- 年齢や立場によって、考え方が非常に異なると分かった。その違いを聞くことができて、興味深かった。
- 会社勤を40数年しており、定年を迎えるに当たり、市民委員会に参加した。色々な方々の意見を聞く機会を得ることができ満足しております。
- 普段話すことのない人達と接することでいろいろな意見、考えを聞いた。

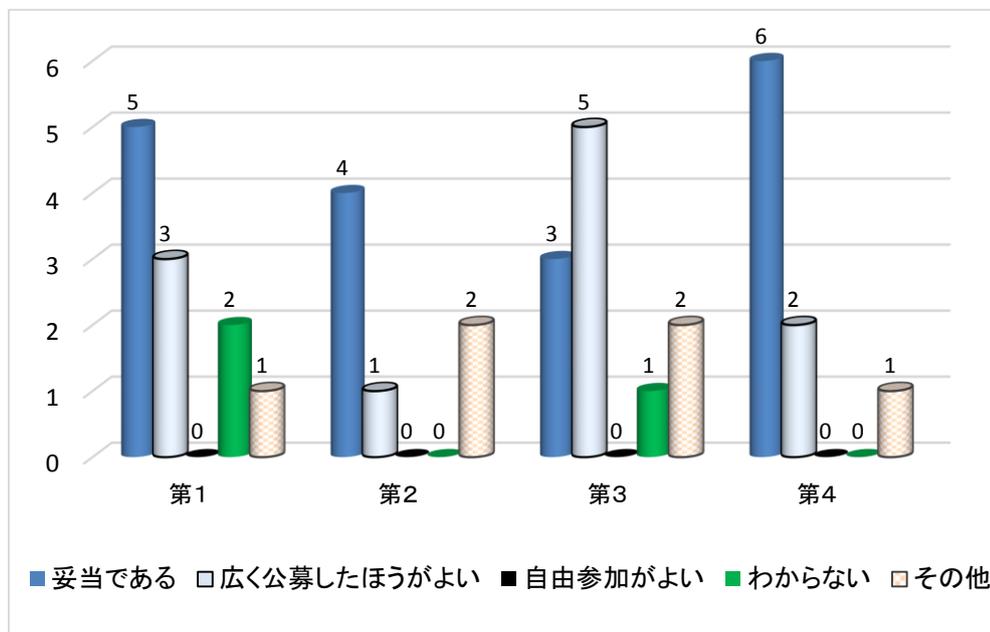
## 2. 委員の募集方法について

問 市民委員会は無作為抽出で参加者を募集しました。この募集方法についてどう思われますか。

全体



各分科会



## 自由記述

- 無作為抽出だといろいろな人が来るのは良い点だと思いますが、来るべき人、参加すべき人が漏れてしまうのがもったいないと思いました。
- 公募の方が意識の高い方々が集まり有益と考えます。
- 年齢層も幅広くいらしたので、色々な意見が聞けました。良かったと思います。
- 常時一定以上（10～15人）の出席者があり、かつ様々の年代の男女がバランスよく参加できるような方法があればと思います。
- 富津市に関心を持つきっかけ作りという意味合いでは、妥当であったと感ずる。
- 私は、この方法だったから参加を決めました。気になっている事があっても、自ら進んで参加するほどの積極性はないので。
- 各市民の職種に基づいて募集をしても良いのではないかと思います。又、委員会開催時は必ず全ての市議会議員を各分科会に振り分けて参加させた方が良い。
- 今回は妥当だと思うが、もし次回もあるなら広く公募した方が良いと思う。良い意見をもってる方がたくさんいらっしやると思うので。
- 何らかの提言を期待するのであれば、各種の諮問委員会を作ればよい。平均的な市民の意見を吸い上げるのであれば妥当か。
- 多くの方が、参加の意思を表明したにもかかわらず、実際参加した方が少なかった。広く公募して本当に参加する意思を確かめた方が良い。
- 興味があつたり、常に行動している人ばかりだと、片寄ってしまいがちなのでむしろ興味を怠っていない方々の意見が大事
- 子どもがいて、仕事があつて、自由に休めないので参加したくてもできない。
- 最終的な参加人数は少し少ない気がしましたが、発言しやすい人数であったと思います。ですが、多くの市民の方が知らないまま、市民委員会が進められていることはちょっとまずいのではと感じました。
- 無作為抽出と広く公募と半々では。片寄らない為。
- 無作為抽出で参加した80人余りのうち、いったい何人が出席していたのか。市政に興味があり、参加したくても参加できない人もいたはず。
- 参加したい人が参加できないので参加したい人がもっと参加できた方が良いと思う。
- 無作為抽出方法ではなく、公募や自由参加方法だと自分は今回の委員会には参加していなかったと思う。個人名で参加の案内が届いたことが勇気をもらい参加の意思が強くなった。

○無作為、広く公募で参加も募ればなお良かったと思います。各地域からの各世代の市民の参加が理想だと思いました。無作為抽出、公募、参加したい人、推薦したい人の委員会であっても良かったのではないのでしょうか。

市民参画 PDCA の実行のためと施策をより深く具体化する為にも改めて委員会を発足させて欲しいです。引き続き参加できる委員の方も含め、市民委員会の組織づくりをお願いします。委員を募るためには参加しやすい組織づくりを工夫してください。

例えば、地域別（地区）の市民委員会であり、会場場所は地元の集会場など、会合日程も各委員会別にして各世代の方や仕事をしながらでも参画しやすいようにします。それぞれの委員長で、担当職員と会議をしていくというプロセスです。細分化される事で、情報の窓口にも有効です。行政はもとより市民委員会と創生会議の組織が主体になり、各団体をつなぐ役目も担えます。特に参画してもらいたい子育て中の若い世代の方、高齢者、障がい者の生活を理解している方等、地域活性のために、地域の特性を活かしながら、つなげながら施策に反映させ実施されていくことを望みます。

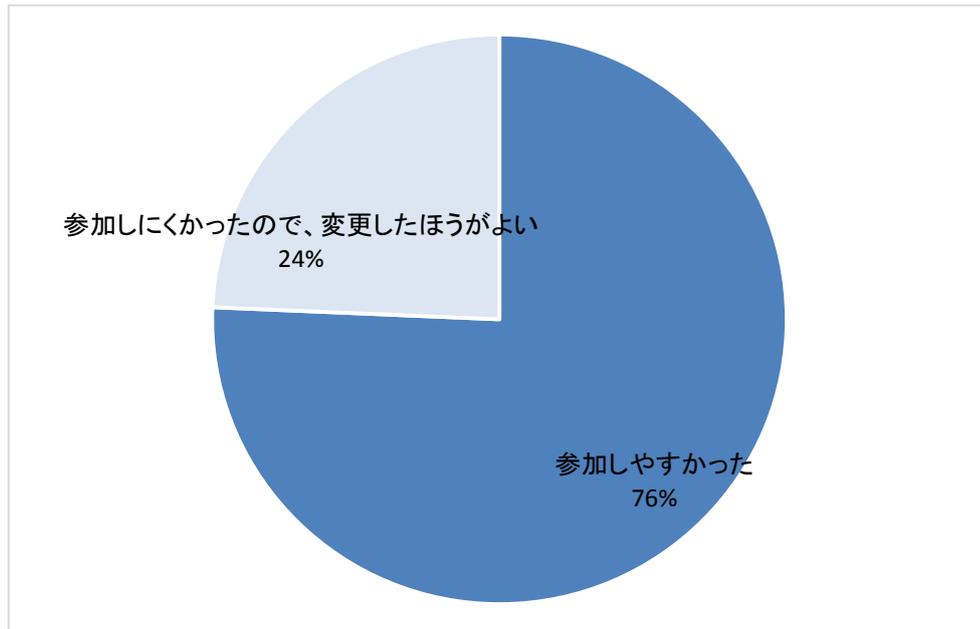
○無作為の抽出により参加希望者の募集は、大変良い方法だと思います。

○片寄らず、よいと思う。

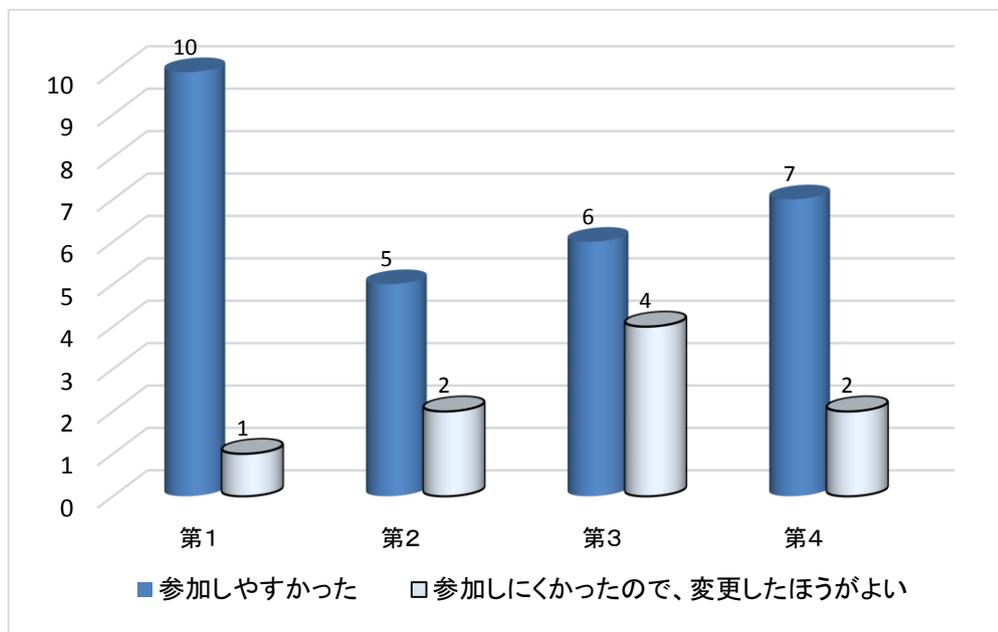
### 3. 市民委員会の運営方法について①

問 市民委員会は休日昼間または平日夜間に開催しました。曜日、時間の設定についてどう思われましたか。

全体



各分科会



## 自由記述

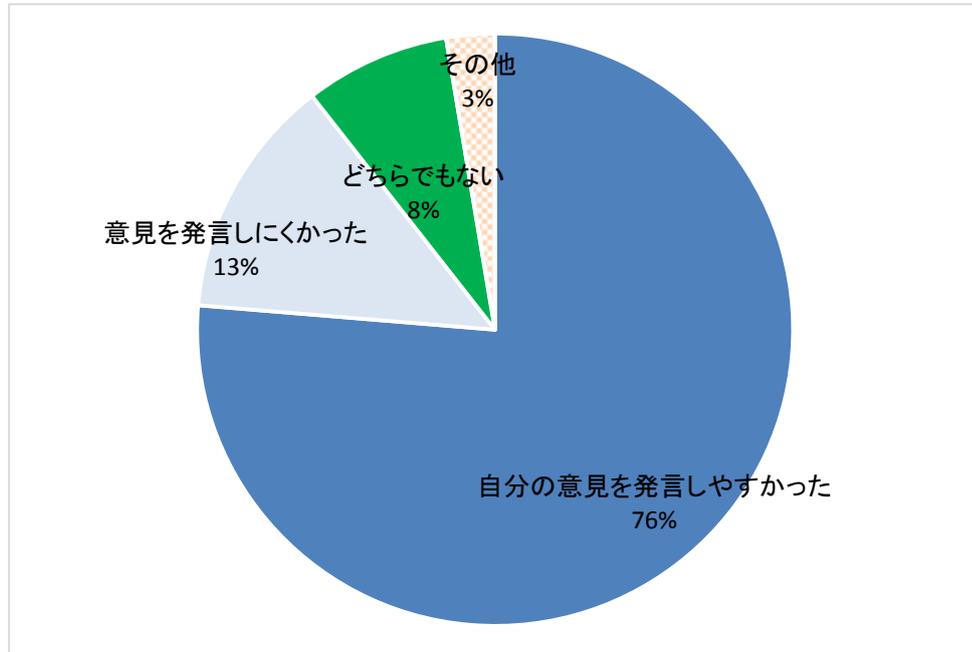
- 平日は仕事があるので時間の設定はよかったです。ただ回数はもっと多い方が良かった。週1回は難しくても月2回はあった方が良かったです。1ヶ月あくとな前のことを忘れてしまいます。
- 仕事を持っているので都合のつかない時もありましたが、曜日、時間の設定は良いと思います。
- 参加するからには全て出席したかったのですが、後半日時が決定していなかった為、欠席又は遅刻することになり残念。初めから全ての日程が決定していた方が良かった。
- 暇なもので余程のことがなければ参加いたしました。
- 平日は孫の子守をしたりしていたので好都合でした。
- 土・日が仕事だったので、個人的には参加しづらかったです。
- 色々な職種の方が参加されているので、これはこれで問題ないと考えます。
- 職場も家も近いので何も問題なかったが、中学生には夜間は無理なのではないかと思いました。
- 平日の夜は時間的に余裕がない。議論時間が足りないことも多々。バスで市役所まで行きましたが、時間が合わなくて30分以上待つことも…。交通の便が悪いので困りました。
- 曜日、時間等は良いが、もう少し会議自体の時間が長くても良いと思う。
- 土日には、公的にも個人的にも用事が多い。それらを犠牲にして参加するのであるから辛い時もあった。
- 10代の方は夜や部活等で参加が難しかったのではないかと考えた。
- 参加はしやすかったが、日程の知らせが少し間近になってからの知らせだったので、もう少し早く会議の知らせをしてくれると良かった。仕事をしているので、あわせるのに少し大変でした。
- 勤め人は土、日曜日か夜が参加しやすい。
- メンバーを統一しないで、それこそ自由出席。そして、もっと公けに。この会議を開いていることを知らない人多数。手紙が届いた人しか知らないし、話題にもならない。
- 私は、土日休みの仕事ではないので、いろいろな曜日が設定されていて参加しやすかったです。
- よほどの事がない限り、時間を合わせる事ができたから。
- 昼間働いている方にはこの方法しかないのではと思いますが。

- 仕事を市民委員会のために休んだりしていたので、平日夜間は、再考したほうが良いのでは。
- 平日休みなので、夜間の方が参加しやすい。
- 参加しやすかったが、駐車場の明かりがなかったので、終了時間ぐらいは点けてもらいたかった（平日夜間）。
- 私は、自営業なので時間をつくれました。子育て世代や市役所への交通手段、仕事などの時間制限等支障となり、参加したかったが、ためらう人もいました。
- 時間は統一してほしい。
- 働いている人のことを考慮した良いスケジュールだと思います。
- 人によっては土、日曜日が良いのかも知れません。
- 仕事にぶつからず、出やすかった。
- 自分は勤めが東京ですので、平日の夜間は早退しての参加でしたが、会社の理解もあり、欠席する事なく参加できました。
- 時間がおして会議が中途半端な感じになっていたことが多かった。休日は午前中から始めて、会議の進行状況に応じて、終了を前後する自由度が欲しかった。

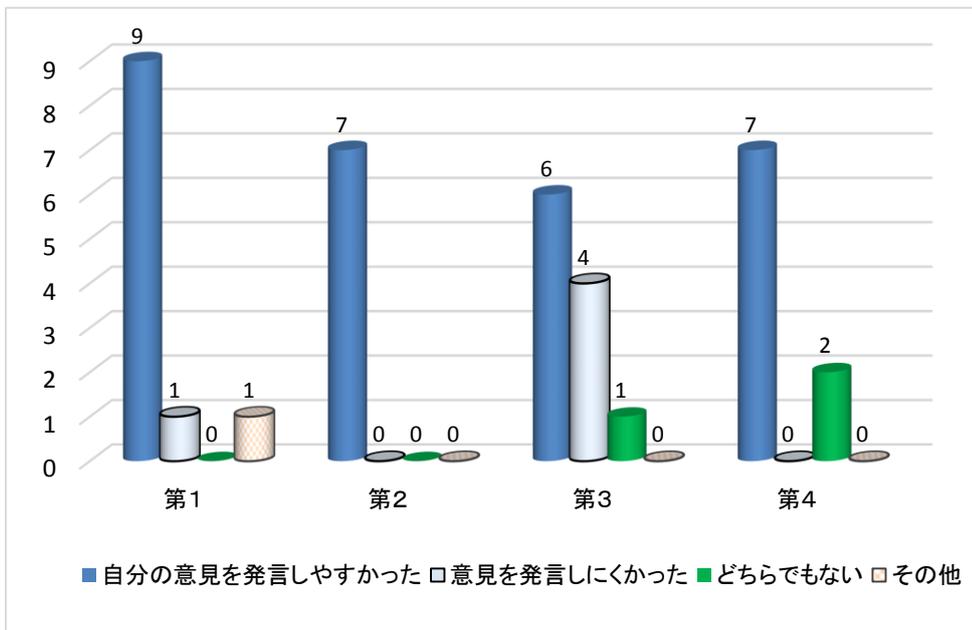
#### 4. 市民委員会の運営方法について②

問 委員同士の討議をコーディネーターやナビゲーターが進行や支援する手法についてどう思われましたか。

全体



各分科会



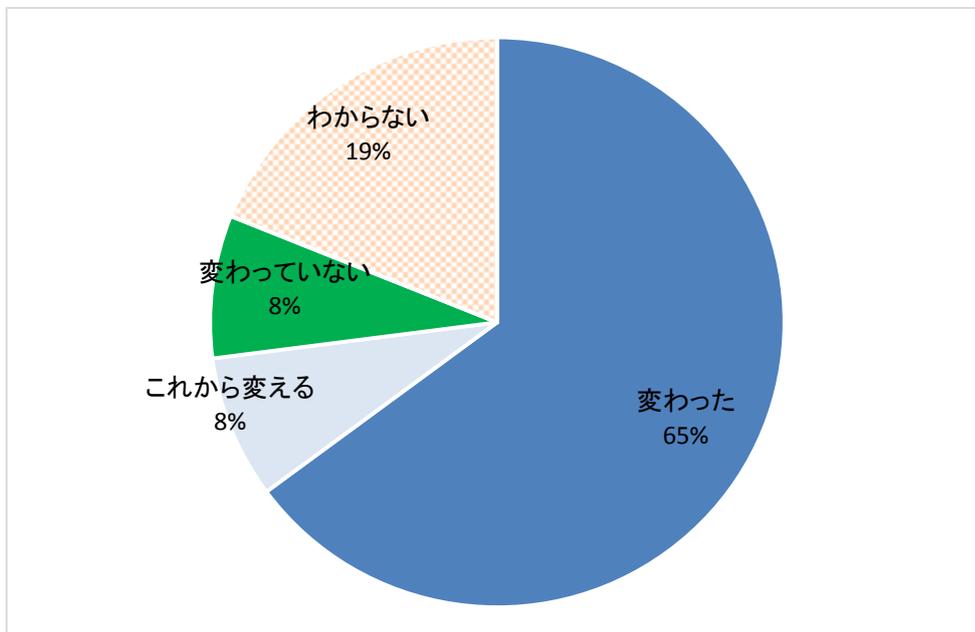
## 自由記述

- ナビゲーターとコーディネーターの方がいろいろな人の意見を引き出し、「これまとまるのかな？」と不安になるくらいまとまらないと（私には）思われた議論をまとめる力は見事だと思いました。その一方で、自分達で「これが結論で私達の考えです。」と言える答えが出せていないのでモヤモヤしています。短期間だったから仕方がないのかな。
- コーディネーターやナビゲーターが上手にリードしてくれることで討議があちこち、ちらからず良いと考えます。
- 形式や話し合いの議題がわかってきたら発言しやすかったです。
- 会議場が広く人の声が聞きにくい（席を近づけたらどうか）資料等、読んで説明されるが早口でよく解らない。
- 回を重ねるごとに議場が和やかな雰囲気になり各委員の発言も多くなりました。これも、コーディネーター、ナビゲーターの尽力と思います。
- この様な場では発言しにくい面もあるが、サポートされる事で円滑に場が進行したと感ずる。
- 第三者機関から選出された人材であるから、市当局との距離感も適度にあり、良い方法だと思った。
- コーディネーターやナビゲーターの方達が富津についての知識がどの位あったのか疑問に思う場面があったが、発言はしやすかった。
- 市民の視点で発言した内容を行政の視点に置き換えてもらえた。
- コーディネーター、ナビゲーターの方は素晴らしかった。が、市民の我が強く、上手く進行しない。また、会議初日、市役所職員は誰もいなかった。形だけの会議。市長が悪いのでは？
- 人前で発言する事になれていない、得意ではない人もいるので、自分も含めて、もっと自分の意見を言いやすい方法、例えばコーディネーターやナビゲーターの人が「〇〇さんどうですか」と問いかけてくれた方が発言できたように思う。同じ人ばかりの発言が目立った。
- 委員同士だけだと意見がまとまらないと思う。
- 上手に発言できない時、上手く伝えることができない時など、皆さんに私の意図を説明していただきました。討議を早く進行し、まとめてくれるのでとても良かったです。
- コーディネーターやナビゲーターの進行支援は良かったと思うが、解析手法は特性要因図等を使用して原因と対策をまとめた方が効率的で正確である。
- ポイントを把握しやすくしてもらえるため、よい意見が出てきた。
- コーディネーターの石渡氏の進行が、議題に沿った案内をしておられ、各委員の発言を十分に引き出しされてました。第4分科会は熱のこもった意見が出たと思っています。

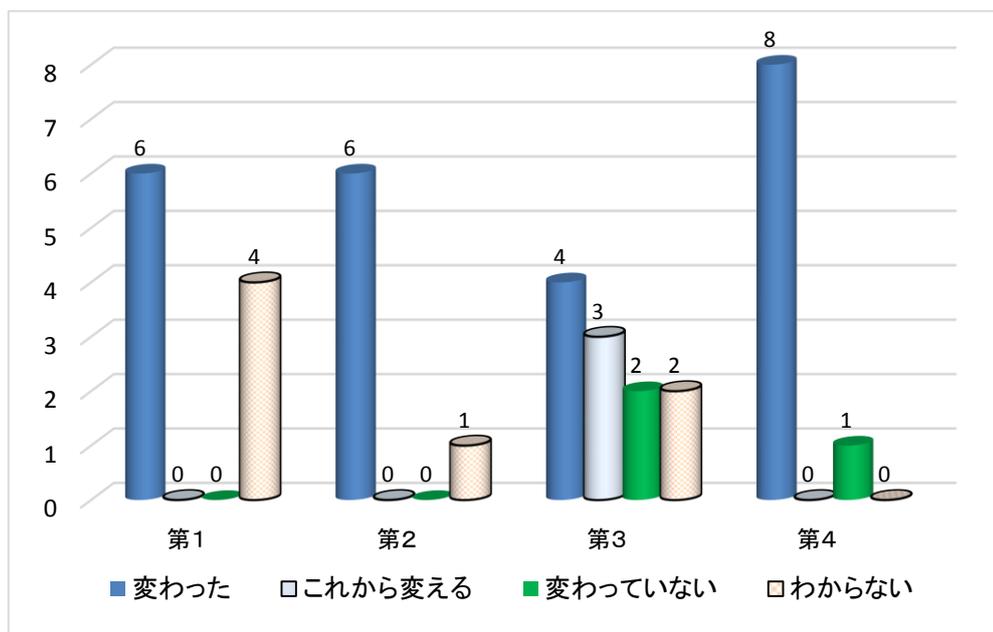
## 5. 自身の行動変化について

問6 市民委員会に参加したことで、行動に変化がありましたか。

全体



各分科会



## 自由記述

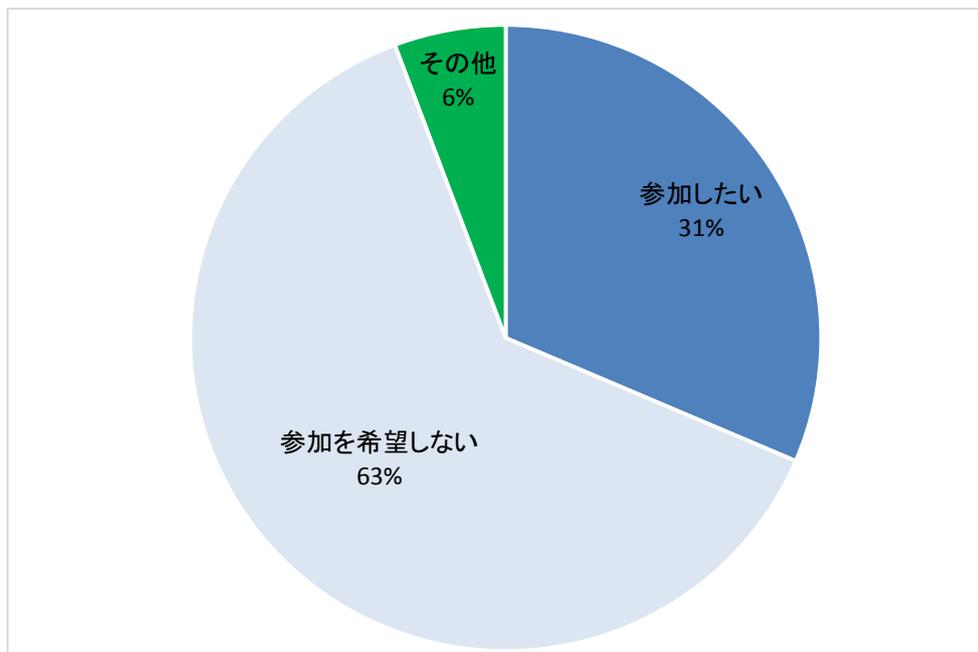
- 市の事を更に知りたいと考えるようになりました。
- 富津市に興味を持つことができた。
- 会社の人、区長さんなどに話を聞きました。それが会では上手く出せずにせっかく力を貸してくださった方々に申し訳ないと思っています。この先どんな形になるかわかりませんが、少しでも恩返しというか力になりたいです。
- 市政は市長を始め市職員、市議会議員等で進めるものとの意識を持っておりましたが、今回のことで当事者意識を持つようになり、自分の出来ることから積極的に関わって行こうとの思いです。
- 地域をまず私達住民の力で、住みやすく元気に明るく暮らせる地区にしようと、女性のボランティア会「さくら会」をつくりました。これから皆で一つずつできることを話し合いながら取り組んでいきます。市の協力が少しでもあると良いですが、又広報でお世話になる時がくると思います。※将来、地区のブランド野菜等物産を置ける道の駅 or ふるさと市場をつくりたいです。
- 15年前、現役の頃観光地で商売をしていたので、お客様とは富津市の事を良く説明した。今は家にいるので他県の人と会う機会もなくなってしまいました。
- 読書、マスコミ、家族や知人との会話等で日頃から意識し行動するようになった。
- 参加回数が少なかったので、変わるまでに至らず残念です。
- 近隣の行事等にも出向く機会が増えた。
- 従前より、PTA、消防団、社会体育等の分野で様々な経験をいただいたので直近の区長経験も視点を変える大きなインパクトになりました。今後の方向が楽しみです。
- できるだけ市内で買い物をしている。
- 粗探しをしているわけではないが、日常で改善をした方が良いと思う所を気にする様になった。
- テレビの番組表で「街をかえる、かわった、～の取組」みたいな番組があったら、録画して見るようにしている。近所や近くの海岸のゴミ拾いを自主的にやろうと思う。
- 地域の市政上の問題を、課題を、他人事とは思わなくなった。
- 富津市の問題点を友人と話し合う機会が増えた。
- 今までは気にしていなかった市政に対して、もう少し気にかけてみようと思う様になりました。

- 関心が無かった事柄にも興味と好奇心を持って見つめることができるようになった。
- この会議の意味がわからない。市長が何もしないのが悪い。
- 市民委員会に参加したことで、いろいろな行事にも参加してみようと思う様になった。
- 元々富津を好きではなかったが、それではいけないと思う様になった。
- 他県の知人や市内の友人と富津市民委員会の内容について話し合うようになり、富津市の将来について考えるようになった。
- 行政に無関心でしたが学ぶことが多くありました。一委員として、無力でしたが意見を発信する度に市民の自覚と行政への関心が向上しました。
- 富津市民としての考えを持てるようになった。
- 富津市の財政逼迫と人口減少は、自責、共責、公責であったと考えるようになった。又、今後は目標に向かっての推進に協力すべきだと思うようになりました。
- これからも、自分にできる事を見つけて取り組んでいきます。
- 自分自身が動いてゆかなければ、いけないと思いました。小さな事であっても、動くことから始まると感じました。他の町村の生活がわかりとても意義のある期間でした。
- 新聞で他県や他市の地域活性化の取り組みを見ると、よく読み、コピー等もしてしまう。どこかで生かせないかと考えている。
- 市の行事や、地域の行事等は会社の仕事中心でしたので、妻にお願いしていましたが、今回市民委員会に参加してみて、民間の会社で取組しているさまざまな手法が役所関係にも活用できると思いますので、自分で積極的に取組したい。
- 市の観光案内や情報誌に目が行くようになった。

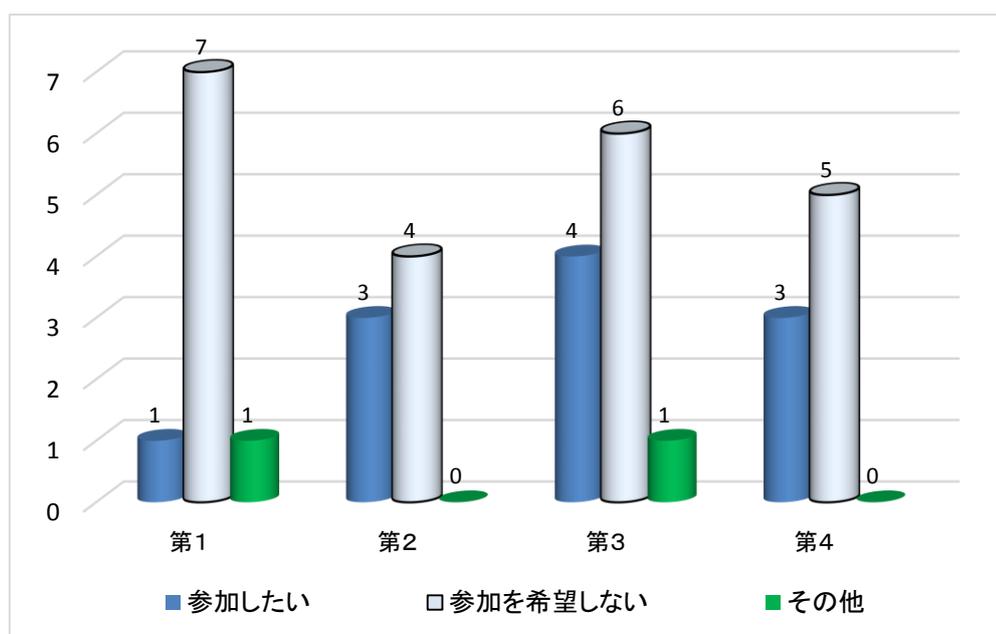
## 6. 進行管理機関への参加意欲について

問 来年度設置する総合戦略の進行管理機関に参加したいと思いますか。  
 (15人程度の委員のうち市民委員会分科会ごとに1名に委嘱し、任期2年、年数回平日の会議を予定)

### 全体



### 各分科会



## 7. 市民委員会委員の感想

問 全体を通じた感想やコメントをご記載ください。

### 自由記述

- 市民としての意見を言いやすい場でありました。ずっと先の未来を考えて会議をするのはとても良い時間でした。ありがとうございました。
- 資料作成や会議進行等ありがとうございました。
- この会が今後の富津市がよりよくなるために、みんなが幸せに楽しく暮らすことができるため役立ってくれたらとても嬉しいです。参加したことを後悔したり、迷ったりしましたが、形になったのを見ると参加してよかったなと思いました。コーディネーターやナビゲーターの方を含め、参加しなかったらおそらく出会うことのなかった方々と一つのことをする貴重な体験でした。ただ「勉強になった」というだけでなく、この経験が生かせるようにしたいです。ありがとうございました。
- 今回の手法はとても良いことと思いますが、今後どうするかによって是非が決まると思います。これで終わりにせず今回の事を生かした市政をお願いしたい。
- この度の参加で後押しされました。女性ボランティア「さくら会」で「ふるさとおこし」をやっています。地区住民のみなさんが挨拶しあえる地区に更に更にしていきたいです。市の行政のみなさま、構想日本のみなさまありがとうございました。大切なふるさとの為、子、孫の為今回がんばると決意しました。
- 昔あった青年会、婦人会、老人会と各団体を又復活させたらいかかでしょう。個人の考えなど届きません。それぞれの立場で代表を出し戦略を進行したらいかかでしょう。
- 以前は市政に対してあまり深く関心を持たなかったが今回、自ら参加したことにより（市政にはさほど役に立たなかったかもしれませんが）私にとっては大変有意義でした。行政に携わる方々、或いは、その他委員会に関した皆様方のご努力に感謝いたします。
- 様々な地域の知らない問題や、色々な人の意見を聴けて楽しかったです。もっと参加して、我が事として討議したかったです。参加できていたとしても力不足で役立てたとも思えませんが良い経験をさせていただきました。ありがとうございました。
- 行政が実施する事、市民がやるべき事を理解した上で、自分ができる事を推進していきたい。
- 自分の住居地の皆さんの意識改革に少しでもこの経験を行かせる様発信していきたいと考えています。
- まず意識改革からだったのかなと思いますが、議論もややぼやけていた様な気がします。

- もう少し行政（市長や議員）と市民の意見のすり合わせをしてほしい。
- 富津市について、普段なら知り合うことのない人たちと問題点、解決案などを話し合うことができ、その点では有益だった。それがゆがめられることなく、却下されることなく、具体的な策で実施されることを願う。
- 出された思いが多すぎて、形がまだ見えない様な気がします。行政（市）は少しずつ変化してきたと思いますが、大きな変革はまだまだかと思っています。
- 市民委員会のメンバーが全て多くの問題意識を持って参加しているとは思えなかった。事前に課題図書等を提示していただいたら、更に議論も深まったのではないか。
- 親の老後の問題や、子どもの教育環境、地域の問題、職場等、に直面している、30代、40代の人達が参加する時間帯を選び、職員や市議、区の代表等と共に、今後の市の在り方を話し合える委員会を作ることが大切と思う。くれぐれも、所謂、地域のボスを参加させないで自由に発言する様にしてほしい。
- 前にも述べた様に、今度も市政に対して気にかけて、住みやすい市にしていけたら良いと思います。
- 今後の流れや、どのように活用されていくのかを見届けたい気持ちがあります。あくまで、素人判断の感覚を大切に見つめて活用してもらいたい。
- 市長が自分を守るため、形だけの会議。それでは誰もついてこない。
- 難しいことはわかりませんが職員の皆さんの仕事ぶり大変さを垣間見ることができ、努力されていることに感謝します。
- 自分の市政に対する関心度・理解度の低さ及び情報収集度の低さを実感。市政に携わっている幹部の方は、もっと前向きに取り組んで若い職員の方の意見を汲み取って欲しい。
- 市民委員会のときも、今回の総合戦略案でも、いまいち行政のやる気を感じない。抽象的な表現で具体的な施策がわからない。しかし、そういった事も含め、色々知ることができよかった。ありがとうございました。
- 市民が市を運営していかないとと思うので市民委員会はいききっかけになると思う。
- 参加したのは1回だけで大変ご迷惑かけました。ただ、その一回の参加で正直、次回からの参加する気持ちがなくなりました。
- 市民委員会の進行管理は必須です。改めての公募委員会を設置することを強く望みます。（引き続き参加できる委員会の方と共に）
- 富津市の若い職員の方々がとても一生懸命というのが伝わった。今後もどうかそのままよろしく願います。
- まとめは、改善の手法を取り込み委員会でまとめた方が現実的だと思いました。

- 人口ビジョンの議論に時間をかけすぎた。もっと施策の議論に時間をかけたかった。
- せめて委員会の出席した人は、行動に移していかなければいけないと思っております。
- できるだけ広く、働きかけていかないと効果が出ないようなことなので、基本目標や短いフレーズのポスターなどで市全体に呼びかけて、意識を高めていけたらよいのでは。
- 平成27年7月5日の第1回富津市民委員会が開催されてから、約半年に亘る会合に参加できたことは、私の人生の中でも有意義な時間となりました。
- 非常に良い経験をさせていただきました。業務の都合上、富津市に複数年住み続ける保証もない為、進行管理機関の立候補はしませんでした。富津市のより良い発展を願っております。